

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

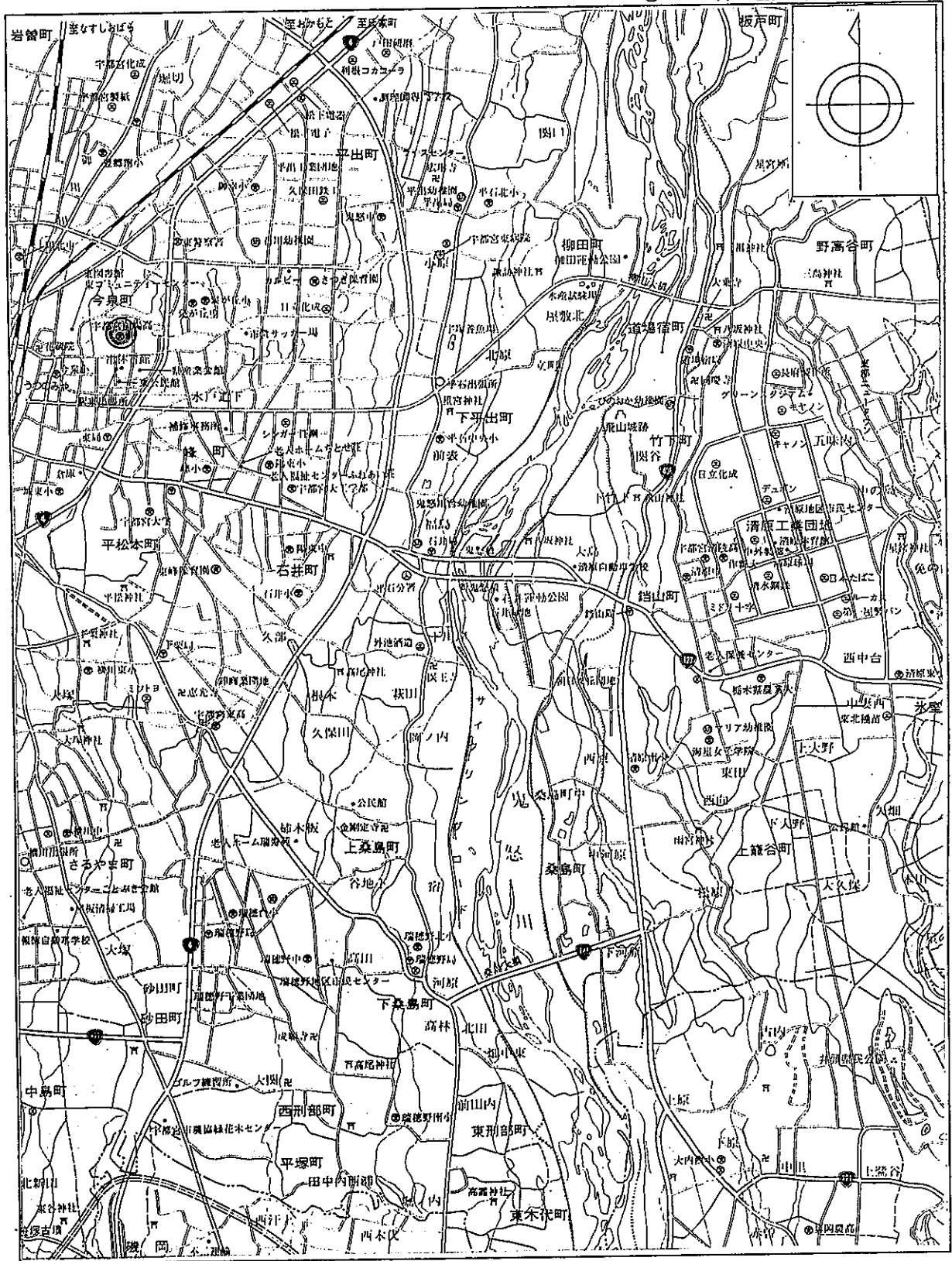
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

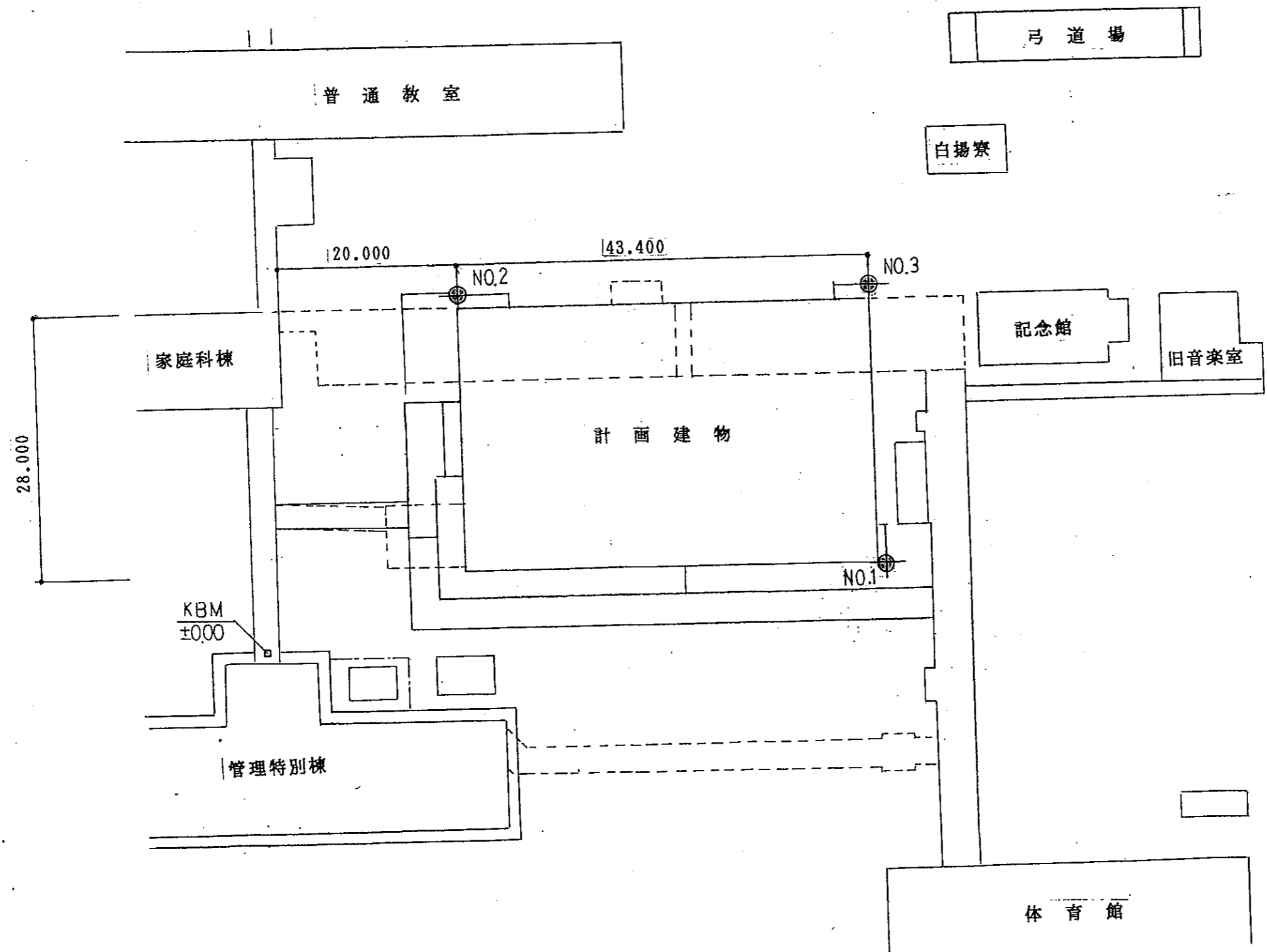
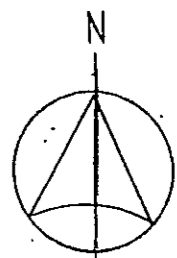
栃木県土木部建築課

調査位置案内図 縮尺 1 : 58,000

○ 調査位置



地質調査位置図 S=1:500



土質柱状図

調査名 宇都宮白楊高第2体育館新築工事地質調査

調査年月日 平成 7年 7月 8日

調査位置 宇都宮市今泉町2021

～ 平成 7年 7月12日

地点番号 NO.1

標高 KBM-0.645 m

機種 KR-100

総掘進長 8.19 m

孔内水位 GL-3.25 m

担当者名

標尺 m	標高 m	層厚 m	観察記録		標準貫入試験			試験名	深度 m	試験採取		室内試験	掘進月日	
			土質記号	土質名	色調	相対密度	記事			深度 m	試験番号			採取方法
1	-1.24	0.60	UVVA	有機質土	黒褐色			0.15mまで盛土でローム、軽石、草根混る。	1.15	3/30				
2	-2.94	2.30	UVVA	ローム	暗茶褐色		含水中。粘性中。腐食物混る。2m付近軽石混る。	1.45	3/33					
3	-4.29	3.65	UVVA	軽石	黄褐色		粘土軽石層で含水多い。下深粒子が粗粒。	2.48	1/45					
4	-5.34	4.70	UVVA	ローム	黄褐色		含水中。粘性中。3.95mより中砂を帯状に含む。所々腐食物混る。	3.60	2/35					
5			UVVA	砂	茶灰色～暗黄灰色		含水中。礫はφ2～30mmの亜角れき主体に角れき混る。最大でφ100mm内外所々混入。マトリックスは中砂、粗砂、粘土。6m～6.60m間含水多く透水も多い。6.70mより暗黄灰色で所々透水あり。所々φ70～90mmのれき密集。	4.15	50/21					
6								4.50	5/1					
7								5.15	21/24					
8								5.36	8/7					
9								6.15	25/30					
10								6.45	19/20					
								7.15	50/25					
								7.40	50/4					
								8.15	50/4					
								8.19						

